

みやこ町ゼロカーボンシティ宣言

～2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けて～

近年、世界規模で猛暑や台風、豪雨被害など地球温暖化が要因とみられる大規模災害が多発しており、気候変動の影響により、「気候危機」と言うべき深刻な状況にあります。

我が国においても例外ではなく、これまでに経験したことのない豪雨や台風等により甚大な被害が発生しています。

こうした状況を踏まえ、2015年に合意されたパリ協定では「産業革命以前と比較して世界の平均気温上昇幅を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。

その後、2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では「気温上昇幅を1.5度に抑えるためには、2050年までに、CO₂(二酸化炭素)の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

みやこ町では、将来にわたって町民が豊かな自然の中で、健康で安心して暮らすことができる環境を次世代に引き継ぐために、積極的に取り組みを推進し、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を宣言します。

令和3年12月6日

みやこ町長 井上幸春

